

さいころを n 回投げたとき，出た目の最小公倍数を m とする。ただし， $n \geq 2$ とする。

- (1) $m = 2$ となる確率を求めよ。
- (2) $m = 4$ となる確率を求めよ。
- (3) $m = 6$ となる確率を求めよ。
- (4) m がさいころの出た目の 1 つと等しくなる確率を求めよ。